JAPAN Neko-Dasuke NETWORK
[p-1]
2013 平成25年3月 号外32
いのちにやさしいまちづくり
ニュース 号外 vol.32
Neko-Dasuke http://www.nekodasuke.net
NPO ねこだすけ 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203 Tel.&Fax.03-3350-6440

新宿区内の猫 手術数と引取数の推移

平成13年に、官民協働の第一回新宿にゃんにゃんセミナー（地域猫対策セミナー）が始めて開かれました。その後、同区では年に一度の開催を続けています。地域猫対策十年で、猫の引取数が十分の一以下になりました。

平成年度	区の助成による 猫の去勢・不妊手術					区内から 東京都動物愛護相談センターへの引取数		
	手術計	飼い猫オス	飼い猫メス	野良猫オス	野良猫メス	成猫	子猫	引取数
13	453	138	315	平成16年度までは、飼い猫と野良猫の区別をしていないので、飼い猫に算入。		37	278	315
14	454	136	318			26	185	211
15	513	173	340			29	200	229
16	578	106	99	109	264	22	157	179
17	864	48	72	215	529	28	60	88
18	1088	50	72	233	733	17	80	97
19	1140	65	78	343	654	27	67	94
20	1112	73	88	268	683	19	37	56
21	1004	64	66	258	616	30	31	61
22	1099	61	62	230	746	12	17	29
23	1209	48	44	230	887	8	22	30
24								

引取数ゼロが目標です。

地域ねこ対策・行事予定

ねこだすけがお手伝いや参加させていただく行事
2013年　平成25年

3月10日　港区・まちの猫セミナー
3月17日　中野区・地域ねこセミナー
4月20日　習志野市・地域猫セミナー（仮称・予定）
5月12日　沼津市・地域猫セミナー in ぬまづ

その他、詳しくは… ねこだすけ　行事　検索

のらねこハンドブック　小さな命を守るために

上梓のご案内をいただきました。推薦文は、山口獣医科病院山口武雄先生。「野良猫を殺処分したくない…!!　野良猫の命を守るための最善の方法を、分かりやすく具体的に解説します。」（左の写真）

著者／タマラ・クルーズ
監訳／田村博昭（ときわだいら動物病院院長）
翻訳／ＴＡＭＳ動物病院グループ
発行所／緑書房
定価／本体1,500円（税別）

地域ねこ対策 行事計画

第2回にゃんにゃんセミナー　平成25年3月2日、国分寺市で開催。以前は地域猫対策に消極的な行政も多かったようですが、例えばプロデューサーとかコーディネーターに似た役割を、地域猫対策のボランティアリーダーが担えるとき、行政主催や官民共催の地域猫講座が具体化に進むように思われます。

官民ボランティア三者協働を積極的にはかろうとする際に、さまざまな仕組みも試みられているようです。今回は、従来からの国立地域猫の会「猫のゆりかご」が、国分寺地域猫の会を新たに主宰し、管轄行政と共催しながら、地域猫対策をすすめるねこだすけが協力にあたる仕組みでした。

えひめイヌ・ネコの会　平成25年2月22日、にゃんにゃんにゃんの日から3日間連続イベントの最終24日に、地域猫セミナー「地域猫ってなあに？」が開かれました。（上の写真）決して狭い会場ではないのですが、椅子とテーブルが足りなくなりました。

認定NPOえひめイヌ・ネコの会が主催し、新宿区保健所衛生課高木優治氏とNPOねこだすけ代表工藤久美子が講師に招かれました。

20年以上の経験を積む主催者のもと、近県からの参加者も見受けられました。会場の中だけにとどまらず、普段はお目にかかる機会の少ないボランティアさんやリーダーの方々と、さまざまな立場からのお話もはずみました。

活気溢れる皆さまとの時間はあっという間に過ぎますが、御意見や情報を交わせるセミナーは、地域猫対策活動をすすめるに際して、ほどよい巡り会いの機会と思うのです。

地元ケーブルテレビの取材も有り、その日の夜には放映されていました。

（行事計画は裏面へ続く）

所沢市・飼い主のいない猫セミナー 平成25年2月16日、所沢市環境クリーン部が主催し、「所沢ねこのネットワーク」と「NPOねこだすけ」が「協力」を分担しました。（下の写真）

講師の練馬区保健所地域猫対策担当石森職員は所沢市在住で、居住地域の「地域猫対策」を自らが主体になって実行した体験の持ち主ですから、活動事例報告が際立ちます。

また同じく講師のチームSLP代表田矢さんは、主に世田谷区が拠点ですが、今は同市の住民となったねこのネットワーク代表斉藤さんも、同区内などで十数年も以前から地域猫対策を続けられていました。

「地域猫について」の講演をねこだすけ代表工藤が勤め、ご記入いただいた質問票にそれぞれの講師や同市の担当職員が答えました。回を重ねるごとに参加者が増え、今回は会場内立ち見の方も・・・

伊東市動物愛護会（高木代表）が、平成24年12月26～27日、伊東ショッピングプラザ・デュオで「人と猫との調和のとれたまちづくり・地域猫」パネル展＆相談会を、静岡県熱海保健所協賛・同動物保護協会後援で開催しました。

伊豆新聞

人と猫、調和する町に

デュオでパネル展や相談

右の切り抜きは伊豆新聞の記事より抜粋。

同県やねこだすけの地域猫対策普及用配布資料や、パネル・のぼりなどを展示し、ボランティアスタッフがご相談に答えながら地域猫対策をお知らせしました。

第二回三鷹地域猫セミナー 平成24年12月8日「みたか123」の主催で開かれました。

いつのセミナーでも同じですが、開会前には何かそわそわと、すごく緊張した面持ちの参加者さんが必ずいらっしゃいます。しかし当日のアンケートにもあるように、地域猫対策の思いが直接的に伝えられたためか、帰り際には晴れやかな笑顔でご挨拶を交わす方々が大勢です。次の三回目、四回目に期待がふくらみます。

スタッフも含めた参加総数は約50名とのことですから、地域密着の普及啓発には丁度の規模と思われます。三鷹市内からが60％、多摩地区を含めると76％と、まさに地域主体がうかがえます。年齢は4～50代が60％で、男性が24％です。「地域猫という言葉を知らなかった」が30％、「地域猫活動を知らなかった」40％です。一方で、一般参加の行政担当職員（他自治体）や東京都動物愛護推進員、市議会議員のほかに、動物愛護などの活動に実際に関わっている方が35％でした。「このセミナーを他の人にも教えたい」「このような大きなセミナーに正直びっくり」「自分のできることを、これからはもっと積極的に行う」…、などの感想も届きました。下の写真は「みたか123」代表牧野さんの御報告。新宿区保健所高木さんとねこだすけ代表工藤が講師を勤めました。

第12回新宿にゃんにゃんセミナー（人と猫との調和のとれたまちづくりセミナー）が、平成24年12月1日、ねこだすけ理事で、すみだ地域ねこの会庄司代表の司会で行われました。新宿区保健所本間衛生課長の「区内で地域猫対策が浸透している」ことなどの挨拶の後、環境省動物愛護管理室指導企画係岸係長と、東京都栗原動物管理係長から、動物愛護法改正と地域猫対策の関係についてなどの解説がありました。新宿区の高木職員とねこだすけ代表工藤は、地域猫対策12年の歩みなどについて、現場の立場から報告をしました。

講師全員参加のトークセッションは、今から12年と少し前、第1回新宿にゃんセミの頃に「地域猫」をどうすれば世間に認めてもらえるのか？「そのためのゲリラ戦術もあり」などのご提案をいただいていた、動物ライターの加藤先生にコーディネートをお願いしました。動物愛護に詳しい林弁護士に加わっていただき、地域猫対策のこれからの課題などについて、掘り下げた意見や興味深い情報の交換が行われました。

下の写真はトークセッション。右から新宿区高木優治氏、動物ライター加藤由子氏、環境省岸秀蔵係長、東京都栗原八千代係長、林太郎弁護士、ねこだすけ工藤久美子。